

令和6年度 学校教育自己診断の結果と分析

大阪府立りんくう翔南高等学校

1 総評

学校の主たる活動である授業に注視すると、「授業中に集中しているか」という設問に対して、生徒の肯定的な評価は、昨年度、生徒評価は84.9%（今年度は84.3%で同水準）、一方、教員評価は44.4%（今年度は60.7%）と2倍近い乖離があったが、今年度は、生徒評価は昨年度と同水準を維持しながら、教員評価が4割程度高まり乖離幅が狭まった。

少なからず存在する基礎からの学びなおしが必要であり、これまで可能性がありながら、頑張っても力を発揮しきれずにいた生徒が、わかりやすい授業や興味関心を持つ授業を求めているニーズに対する理解が徐々に浸透してきた結果であると捉えている。

2 アンケート結果の分析

【生徒対象】

○殆どの設問について、昨年度からの増減が5%以内となり明らかな変化はない。

5%を超える増減があった設問と肯定率は次の3点。

・問 10「文化祭や体育祭など授業以外の学校行事は楽しく行えるように工夫している」

5.4%減 72.1%

・問 11「りんくう翔南高校の生徒会活動は活発である」6.4%減の 58.4%

・問 18「学校は、生徒1人1台 端末を有効に活用している」9.8%増の 66.7%

○「学校に行くのが楽しい」「学校の授業はわかりやすい」は微減であるのに対して文化祭、体育祭や生徒会に関する減少幅が大きい。入学生徒のニーズとの乖離を埋める必要がある。

【保護者対象】

○今年度フォーム作成ツールを導入したためか回答率は昨年度の36.8%から17.2%に減少した。昨年までの傾向として1年生の保護者からの回答が80件を超える回答があったが、今年度は26件にとどまっている。2回にわたり周知を行ったが回答数は伸びなかった。

○データから5%を超える増減があった設問と肯定率は次の4点。

- ・問 5「学校の服装や頭髪など生活指導方針に共感できる」8.1%減の 59.0%
 - ・問 2「子どもは授業がわかりやすく、楽しいと言っている」7.9%増の 53.0%
 - ・問 9「学校は、教育情報について提供の努力をしている」8.1%増の 74.0%
 - ・問 12「りんくう翔南高校のクラブ活動は活発であると思う」9.1%上昇の 51.0%
- 学校の身だしなみ指導の内容に変更ないが、規律指導に対する共感が減少傾向である。
- 学校からの情報提供体制や授業に対しての評価は高まっている。今後保護者や生徒の理解を得るために丁寧な説明が必要と考える。